

# おばなざわ 市議会だより

111号

令和3年11月1日発行

## 9月定例会

令和2年度決算認定	2
決算特別委員会(総括質疑)	4
分科会委員長報告	6
一般質問	12
トピックス	23
私のひとこと	24



## 私のひとこと

### 芭蕉と清風の交流



鈴木清風家第15代当主

鈴木 正一郎 さんにインタビュー

①なぜ芭蕉は清風を訪ねてきたのか。  
「おくのほそ道」の旅は、芭蕉の「よき場」(俳枕)と、「よき人」(俳友)を求めて、自らの俳風を問う旅であったと思います。清風は江戸で芭蕉の最も信頼した俳友の一人でした。俳友清風、俳枕花沢を訪ねることが「おくのほそ道」の旅の目的の一つではないかと思えます。



### 鈴木清風さんはどんな人だったか

②清風はどんな仕事をしていたのですか。  
今の銀行と総合商社を兼ねたような商売を行っていました。出羽国の諸物産を取り扱い、尾花沢で生産されない紅花などは、生産地の商人に融資、または共同で扱うなど幅広い活動を行っていました。  
清風は嶋田屋(屋号)副社長的立場で、京都や江戸で商売を行い、商人仲間との交流の中で俳諧を学んでいました。



③子ども達に芭蕉と清風をどう伝えたいですか。  
資料館では、館長さんをはじめ職員の方が、芭蕉や清風、そして尾花沢の素晴らしさを丁寧に説明し、教えてください。  
市長さんを始め、市職員、議員の方々、さらに充実するよう常に頑張っておられます。  
資料館だけでなく、市の施設はどんどん活用して、尾花沢のいいところを見つけてください。



発行/山形県尾花沢市議会 編集/市議会だより編集委員会

### 鈴木清風 没後三百年



松尾芭蕉  
おくのほそ道より

お詫びと訂正  
前号110号を次の通り訂正しお詫びいたします。  
(4P) 中段  
議決されました。↓可決されました。  
(13P) 一段目  
1万9千ガワット→1万9千メガワット  
**あしがき**  
8月に議員の役職改選が行われ、市議会だより111号は新しいメンバーでの発行となりました。市民の皆様へ愛される市議会だよりを目指し、編集委員一同力を合わせ作り上げて参ります。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。  
(星川 薫)



# 令和2年度 決算を認定

# コロナ禍、懸命な 対応を評価

一般会計歳出 **149億7,811万円**

特別会計歳出 **49億5,861万円**

## 定例会のあらまし

令和3年9月定例会は9月6日から24日まで19日間の会期で開催され、令和2年度の決算案件7件、令和3年度一般会計・特別会計補正予算5件、条例の一部改正など11議案を慎重に審議した結果、いずれも原案の通り可決しました。

また、人事案件2議案に同意、請願2案件を採択し、議会提出案件の意見書3件を可決しました。

## 主なもの



国のGIGAスクール構想を実現。各学校で工夫した積極的な取り組みが行われている。

小中学校校内通信ネットワーク整備事業 **5,472万円**  
小中学校情報端末整備事業 **7,803万円**

## 補正 予算

令和3年度一般会計補正予算  
**9億1,555万円を可決**

科目	主な事業内容・金額(千円)
総務費	394,756 財政調整基金積立金、高濃度PCB廃棄物処分業務委託料
民生費	12,100 自立支援医療費、保育施設感染防止対策支援事業
衛生費	9,600 簡易水道特別会計繰出金
農林水産業費	6,477 山形県元気な地域農業担い手育成支援事業費補助金
商工費	94,650 プレミアム商品券発行事業補助金、工事請負費、じもとDEグルメ満喫事業補助金、企業立地促進奨励金、尾花沢市事業継続応援支援金
土木費	366,463 備品修繕料、除排雪業務委託料、測量設計業務委託料、住宅リフォーム支援事業補助金、流域関連公共下水道事業補助金、尾花沢市特定環境保全公共下水道事業補助金
教育費	3,500 小中学校オンライン学習支援事業（タブレット電源アダプタ購入）
消防費	4,867 消火栓新設移設交換工事負担金、備品購入費
災害復旧費	600 工事請負費



車載水槽が1.5mから2.0mに性能アップ

災害対応特殊水槽付  
消防ポンプ自動車購入 **7,195万円**



大海平揚水場の高圧受電設備(キュービクル)を高台に移設

農地施設災害復旧事業 **8,798万円**



総括質疑

議場360分!! 63項目質疑!

予算がどう使われたか? 令和2年度を

こまかくチェック!!

尾花沢市財政 調整基金

Q 決算年度残高は、前年度末と比べて約2億6千400万円減少し、適正規模の8億円を下回る約6億600万円となった。監査意見書では、「中長期的な視点に立った、計画的な基金の活用をお願いしたい」としている。今後の見通しはどうか。

(鈴木由美子)

A 財政基金のみならず、本当に必要な所には必要な予算を投下しなければならぬ。今後大きな事業が目白押しであり、健全財政を堅持するためには、不要不急の事業は取捨選択や延期など、場合によっては見直す必要がある。財政シミュレーションをして判断しなければならぬと考える。

病児病後児保育の 実績の評価

Q 昨年の実績についてどう評価しているか。二一五調査や市外の施設利用などしっかり見直すべきではないか。

(奥山 格)

A 昨年の登録者数18名、利用者数は4名、開設日数は11日であった。利用が少なかったのは、祖父母が世話をしてくれたり、勤務先より休暇をもらえたためなどによる。開設して1年しかならないので、もう少し様子を見て対応していきたい。

新型コロナウイルス 感染症対応避難所機能強化事業

Q 避難所ダンボールベッドの管理方法は。

(安井一義)

A 550個購入し上柳健康増進施設に保管して

A 不納欠損額は前年度と比べ47万円増えているが、収入未済額は1千561万円減り改善し、収納率は微増だが向上している。また、差押えについては、催告・分割相談・滞納処分を行い、預金調査が71件、差押え処分は99件ある。今後も夜間相談、個別相談が必要と考える。

避難所機能強化

Q 災害時にライフラインが遮断された場合はコロナ対策も含め、すべての備品を、それぞれに配置しておくべきではないか。

(伊藤 浩)

A 避難所には学校跡地や保育園などがあり、スペース的な問題からすべての備品が置ききれない場合もあると考える。学校の建屋など

いる。また、玉野小学校の防災学習会へ貸し出しを行い、実際に組み立て使用した。



避難所用ダンボールベッド

地方創生臨時交付金の 交付額と執行額

Q 地方創生臨時交付金の交付総額と、令和2年度の執行額と現在の未充当額について伺うと共に、今後何に充当するのか併せて伺う。

(星川 薫)

A 交付額は7億318万6千円で、令和2年度の執行額は5億71万4千円。現在の残高は7千96万5千円となって

空室が多い避難所については、分散して備品を配置できるように検討する。

教育相談専門員 設置事業

Q コロナ禍の中、昨年と比べ相談件数が、保育・幼稚園が3.5倍(13→45件)、中学校が2.7倍(92→248件)と増えているが、どのような相談が多くなっているのか。また、相談員が1名で足りているのか。

(鈴木 清)

A 主な相談内容は就学・不登校児童生徒・家庭環境についての相談が多い。現場の先生



防災行政無線

特別交付税

Q 国から特別交付税9億3千万円余の交付を受けた。各課で需要額の不足額計17億円以上あったが、なぜ要望額を10億円と定めたのか、その根拠を尋ねたい。

(菅野修一)

A 全国の自治体に配分される特別交付税の総額は地方交付税法第6条の2により、普通交付税も合わせた交付税額の6%と決まっております。他地区における大規模災害の発生なども配分に影響するため、現実的な額として10億円を要望した。

防災対策事業

Q 防災行政無線の保守点検業務委託はどのような内容で実施されたのか。また、管理システムの現状についても伺いたい。

(和田 哲)

A 昨年度は410万円を支出して点検業務委託を行った。主な内容は、庁舎にある親機と各子局の点検と冬期間の巡回点検および雪下ろしなどで、通信異常に対しても緊急に対応した。管理システムについては、朝昼晩の定時放送

個人番号カード

Q 個人番号カードの交付率、年代別交付の実態と、交付目標の達成はどうか。

(小関英子)

A 令和2年4月1日10%が令和3年4月1日20・4%に交付率が伸びている。年代別では60代37%、70代35%が高く20代・30代22%、10代10%と低い。交付目標は3割で、9月1日現在30・7%交付されている。



コンビニで証明書が取得できるよ!

市営住宅の 使用料

Q 収入未済額は、約2千万円であるが、その内訳と今後の対応について伺いたい。

(菅野喜昭)

A 未納の内訳は、令和2年度が、11件約180万円。令和元年度以前は74件約1千820万円である。令和元年度以前の未納者は、すでに退居した方が大半であり、その中には転居先が不明な方や亡くなっている方もいる。今後は、不納欠損も含め、適正な債権管理に努めている。

議長 青野隆一  
決算特別委員長 大類好彦  
2名は役職の立場上 質疑はできません。



# 第1分科会

委員長 鈴木 裕雅



副委員長 青野 隆一



大類 好彦

副委員長 青野 隆一



鈴木 清



奥山 格



星川 薫



菅野 喜昭

## 税金・財政・暮らし・教育・災害・消防など

### 市税の収納

新型コロナウイルス感染症の影響が広がる中での収納について、引き続き納税者への丁寧な対応を要望。

### 空き家対策

管理不全空き家が増加していることから、市民の安全のためさらなる対策を検討されるよう要望。

### 地域おこし協力隊

受入経費の財源は特



別交付税の措置となることから、人数を限定せずより多く募集するよう要望。

### 自主防災会

避難実績のある一時避難所へのエアコン設置を補助対象とするなど、支援の拡充を要望。

### ふるさと納税

話題性があり寄附に繋がる魅力的な返礼品の検討と、寄附者の希望に沿った使途の精査を引き続き要望。

### 消防団

消防団員数の減少や災害の多発化により役割が大きくなっている現状からも、今後も活動に見合った処遇となるよう要望。

### 小学校

トイレの洋式化工事について一部単独事業となつた説明を受け、今後の整備事業は補助事業を有効活用するよう要望。

### 中学校

尾花沢中学校の屋根塗装工事について説明を受け、今後も修繕個所の把握に努め、効率的な発注による経費削減を要望。

### 図書館

時代に合わせてパソコンの活用や雑誌を充実するなど、市民が利用しやすい図書館となるよう要望。

### 体育振興

スポーツ少年団は、児童数の減少と加入率

### 予備費

新型コロナウイルス感染症対策として多くの事業に予備費が充てられたことの説明を受け、適切な運用がなされるよう要望。



# 第2分科会

委員長 塩原未知子



副委員長 和田 哲



菅野 修一



小関 英子



鈴木由美子



伊藤 浩



安井 一義

## 福祉・農業・産業・道路・保健・医療など

### 民生委員・児童委員

災害時の活動範囲が拡大しているため、防災危機管理室と連携した活動支援を要望。

### 尾花沢牛振興協議会負担金

コロナ対策事業は、今後も市民や学生に寄り添った事業の展開を要望。

### 商工業振興

長引く新型コロナウイルス感染症対策の経済支援として、より良い支援を継続されるよう要望。

### 徳良湖

市民をはじめ、訪れるお客様の目線で整備を進め、未来の徳良湖を見据えた事業を行うよう要望。

### 県立自然公園

豪雨や大雪による倒木や崩落の被害が多い山形森林管理署などの関係機関と連携して対応策を検討するよう要望。

### 除排雪

除排雪費が過去最高額となった。計画的な作業と経費の削減に向けた取り組みを要望。

### 配水管の布設替え工事

老朽化が進んでいる水道水を安定して供給するため、老朽管の早期更新を要望。

### 高齢者世帯などの除雪サービス

新たな発想での取り組みや、さらなる負担軽減の検討を要望。

### 身体障がい者手帳

耐久性のあるカード形式への変更について、議会と連携した関係機関へ働きかけを要望。

### 農地中間管理事業

生産コストの削減を目指し、マッチング作業は、団地化への配慮に努められるよう要望。

### 国民健康保険

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、



### 橋梁の維持

定期点検と診断の実施は5年に1度となっているため、計画的な補修工事を要望。





子育て日本一のまち さらに一步前進!

0歳~2歳児の保育料を段階的に無償化

令和3年度一般会計補正予算より

保育料段階的軽減事業交付金416万3,000円

全国道府県初の「0歳~2歳の保育料の段階的無償化」が、山形県において7月に交付要綱が施行されたことに伴い、本市の利用者負担軽減を目的として、議第52号が提案され、可決しました。

内容はC・D1階層の保育料が、**県1/2・市1/2負担で無償化**になりました。残るD2・D3・D4階層の無償化が期待されます。

		保育園・幼稚園・認定こども園						
3~5歳児	階層	国の制度により2019年(R元)10月より全階層無償化 <b>無料</b>						
		A	B	C	D1	D2	D3	D4
0~2歳児	保育料	生活保護世帯	市民税非課税世帯	← 市民税所得割額 →				
		無料	無料	48,600円未満	97,000円未満	169,000円未満	301,000円未満	301,000円以上
				2021年(R3)9月より <b>無料</b>	31,000円	42,000円	56,000円	

## 広域組合議会の報告

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、患者数が入院患者延数7万9千99人(前年度より4千376人減)、外来患者延数は8万9千629人(同1万244人減)で、大幅に減少し診療収入も大きく落ち込んだ。しかし、3市1町の負担増額及び納入時期の繰り上げ、また、新型コロナウイルス感染症に係る国及び県の補助金の受け入れといった財政支援により、危機的な状況を回避した。

北村山公立病院負担金

市町名	負担金
尾花沢市	1億4,925万円
東根市	4億9,954万円
村山市	2億9,343万円
大石田町	6,506万円
合計	10億728万円

令和2年度北村山公立病院組合事業決算は、病院事業収益が53億1千502万円(前年度比0.5%増)、病院事業費用は54億9千720万円(同0.2%増)であり、その結果、1億8千218万円の当年度純損失を計上した。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、患者数が入院患者延数7万9千99人(前年度より4千376人減)、外来患者延数は8万9千629人(同1万244人減)で、大幅に減少し診療収入も大きく落ち込んだ。しかし、3市1町の負担増額及び納入時期の繰り上げ、また、新型コロナウイルス感染症に係る国及び県の補助金の受け入れといった財政支援により、危機的な状況を回避した。

令和2年度決算 診療収入大きく落ち込む

### 北村山公立病院組合議会

北村山公立病院組合議会が令和3年7月29日東根市議場で開かれた。令和2年度北村山公立病院組合事業決算案が上程され、審議の結果原案通り認定した。

請願  
2件

# 米価下落・需給調整 対策の請願を採択

件名	請願者	付託常任委員会	審査の結果
米の需給調整に関する請願	山形県村山市橋岡 北町一丁目1番1号 みちのく村山農業協同組合 代表理事組合長 三浦康彦	産業厚生 常任委員会	採択
国への意見書			
コロナ禍による予期せぬ需要減に対して、政府備蓄米の運用改善等あらゆる政策を総動員した市場隔離の実施、さらには倉庫の新設や低温倉庫の改修にかかる支援等、出来秋に向けた出口対策を強化・拡充すること。			

件名	請願者	付託常任委員会	審査の結果
新型コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める請願	山形市大字門伝字裏城1 農民運動山形県連合会 会長 小林 茂樹	産業厚生 常任委員会	採択
国への意見書			
【請願事項】 1. コロナ禍の需要減少による過剰在庫を政府が緊急に買入れ、米の需給環境を改善し、米価下落に歯止めをかけること。 2. 政府が買い上げた米をコロナ禍などによる生活困難者・学生などへの食料支援で活用すること。 3. 主食用米から飼料用米等への転換にあたっては、産地交付金などの増額をはかり、主食用米並みの所得を生産者に補償すること。 4. 国内消費に必要な外国産米(ミニマムアクセス米)の輸入を、当面、国産米の需給状況に応じた輸入数量調整を実施すること。			



# 市民の代表としてワンチームで議会改革!!

奮闘します



菅野 修一  
すがの しゅういち

大類 好彦  
おおるい よしひこ

星川 薫  
ほしかわ かおる

安井 一義  
やすい かずよし

青野 隆一  
あおの りゅういち

奥山 格  
おくやま きわむ

鈴木 由美子  
すずき ゆみこ

**総務文教常任委員会**  
委員長 鈴木 裕雅  
副委員長 鈴木 清

委員 鈴木 裕雅、鈴木 清、奥山 格、大類 好彦、青野 隆一、星川 薫、菅野 修一

**議会運営委員会**  
委員長 奥山 格  
副委員長 安井 一義

委員 奥山 格、安井 一義、伊藤 浩、鈴木 裕雅、鈴木 清、星川 薫

**産業厚生常任委員会**  
委員長 小関 英子  
副委員長 鈴木 由美子

委員 小関 英子、鈴木 由美子、菅野 修一、塩原 未知子、伊藤 浩、和田 哲、安井 一義

**北村山広域行政事務組合議会議員**  
青野 隆一、小関 英子

**北村山公立病院組合議会議員**  
星川 薫、奥山 格、小関 英子

**尾花沢市都市計画審議会委員**  
委員長 鈴木 清  
副委員長 和田 哲

委員 鈴木 清、和田 哲、塩原 未知子、星川 薫、菅野 修一、安井 一義、鈴木 由美子



小関 英子  
こせき えいこ

塩原 未知子  
しおばら みちこ

伊藤 浩  
いとう ひろし

鈴木 裕雅  
すずき ひろまさ

鈴木 清  
すずき きよし

和田 哲  
わだ さとし

菅野 喜昭  
すがの よしあき



新議長あいさつ  
青野 隆一

尾花沢市は、急激な人口減少によって、多くの課題を抱えています。私たち市議会の役割もチェック機能だけではなく、これからのまちづくりについての積極的な政策提案が必要になってきています。

全議員がワンチームとなって、市民の皆さまとの対話集会や議会基本条例の制定など、尾花沢らしい議会改革を進めてまいります。

どうぞ、皆さまのご協力とお力添えをよろしくお願い申し上げます。

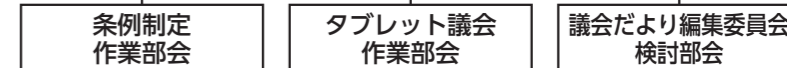


新副議長あいさつ  
塩原 未知子

今年度から導入のタブレットにより、市民と議会の距離を縮めもっと身近にできるよう、議長を補佐し14人力を合わせ頑張っております。

**議会改革推進委員会**

委員長 塩原未知子  
副委員長 和田 哲



- ◎菅野 修一  
青野 隆一  
小関 英子  
伊藤 浩  
鈴木 清

- ◎星川 薫  
塩原未知子  
和田 哲

- ◎大類 好彦  
奥山 格  
菅野 修一  
小関 英子  
塩原未知子  
鈴木 清  
和田 哲

◎は部会長



# コロナ禍の影響を米価にも反映すべき!!

市長…あらゆる機会を捉えて国に要望していく



いとう ひろし  
伊藤 浩 議員

**問** 昨年度の米価は約13%の減となったが、今年度の売り渡し米価の情報をどう捉えているのか。

**答** 毎年の6月末における民間在庫量が、米価と相関していると言われる。令和2年度産米の在庫量は、昨年度より19万トン多い29万トンであり、コロナウイルスの影響による需要減少も重なり、在庫量が増えている。現在の報道などをみても、昨年以上の米価の引き下げになると予想される。

**問** 昨年12月定例会でも、コロナ禍への手当を訴えた。2年産米の追加払いも行われていない。改めて市長の強い決断を伺いたい。

**問** 今年度の新規就農者の状況は、どうなっているか。また、就農者に対するか。また、就農者を

**答** 県内の米価の動向を見ながらの対応となるが、全国的な課題であり、あらゆる機会を捉えて、関係機関と連携し、国に対して要望や支援を呼び掛けて行きたい。また、みちのく村山農業協同組合管内の2市1町でも、足並みを揃えて対応を協議していく。



「やや良」の圃場

**問** 学園都市構想の候補地となつている5ヶ所について、その後の進捗

**答** 増やすには、どんな政策が必要と考えているのか。

**答** 市外から就農目的で移住し、4月から就農された方が3名いる。また、親元への就農者は14経営体と把握している。本市農業の持続化を図るうえで、このような新規就農者、いわゆる意欲的な農業の担い手の確保対策が大変重要な位置づけにある。国や県の支援策に加え、本市独自の「儲かる農業支援事業」を前面に打ち出し、支援したい。

## 学園都市構想

**問** 状況はどうか。

**答** 抽出された5ヶ所について、建築基準法などの法的調査、通学へのアクセス調査、周辺の環境などについてそれぞれ精査を進めている。令和4年度には最終的な場所を選定できるとしたい。

**問** 統合される学校は、スクラップ&ビルド、つまり「刷新された学校」の考え方で進めるべきと考えるがどうか。

**答** 複数の学校が一つになる学校であり、新たな学校としての教育目標、学校経営方針を掲げて行きたい。校歌と校章についても、開校に併せて意見を聞きながら検討する。

2年続けての大幅米価引き下げ。尾花沢市の農業を必死で守ろう!!



つぶやき…

9月定例会 一般質問

どうする! どうなる? 尾花沢

10人の議員はこう質<sup>た</sup>だ<sup>だ</sup>した

録画が見れます

一般質問 1 日目

一般質問 2 日目

○囲み数字が掲載

伊藤 浩	① 学園都市構想 ② 農業を取り巻く諸問題 ③ 脱炭素社会に向けた取り組み	塩原 未知子	① 尾花沢市過疎地域持続的発展計画 ② 市内の林業振興 ③ 公共施設のWi-Fi対応 ④ コロナ禍における文化活動への支援 ⑤ 尾花沢市4大まつり実行委員会
星川 薫	① 公共交通見直し後の運用状況と来年度への見通し ② 管理不全空き家及び特定空家等への対応 ③ ホームページリニューアルの進捗状況	安井 一義	① ご当地戦隊のリニューアル ② 雪押場の確保と流雪溝のさらなる活用 ③ 家族のための高齢者対策
小関 英子	① ごみゼロへの取り組み ② 防災対策の拡充 ③ 認知症対策の拡充	鈴木 清	① 説明会後の「小・中学校統廃合」の課題 ② 園の送迎バスに運行経費助成を ③ 高齢期の間こえの支援を(補聴器助成)
大類 好彦	① 学園構想 ② 尾花沢市無形文化財の継承 ③ コロナ禍における商店街の活性化対策	菅野 喜昭	① 学園構想 ② 尾花沢市住宅関連補助事業 ③ 花笠高原スキー場のコース整備
和田 哲	① イベント開催に関する行政の判断と感染対策 ② コロナ禍の子どもたちのために	菅野 修一	① 次世代へ継ぐ水田農業基盤整備の推進を ② 「尾花沢伝統の匠」の認定制度制定 ③ 小学校・中学校を各々1つに統合ならば新しい校歌校章を ④ 御所の水ハス公園へ環境保全整備の支援を



# 「おばくる」をどう進めるのか

## 市長…利用者の少ない路線から「おばくる」へ転換する



ほしかわ かおる 議員

**公共交通見直し後の運用状況と来年度への見直し**

**問** 新規通学路線「大石田駅通学線」の利用実績や課題について伺う。

**答** 7月の利用実績は、北村山高校生が千328回、その他の市内高校生が595回、合計で千923回利用されている。利用者からは大変好評をいただいている。今後とも二丁の把握に努め、更に充実した通学線となるよう努めていく。

**問** 4月より牛房野線を廃止し、「生活交通タクシー補助(おばくる)」を開始したが、現在までの利用状況と市民からの評価(声)は。また来年度以降の

見直しについて伺う。

**答** 4月から7月までの実績は、37件で路線バス運行時より約2倍に増加しており、対象地区の高齢者からは、大変好評だ。今後の見直しについては、牛房野線と同様に、利用者の少ない路線について「おばくる」への転換を考えている。

**問** 「おばくる」と「おもいやりタクシー券」は事業目的も違う。併用するのであれば新しいタクシー券を「おばくる」の事業内で独自で配布すべきではないか。

**答** 「おばくる」の需要は増えてくると思われる。将来的にも、高齢者など交通弱者にとっても持続

可能な制度となるよう、総合的な見直しを図りながら進めていく。

**管理不全空き家及び特定空き家等への対応**

**問** 現在、通学路沿いで管理不全空き家及び特定空き家は何棟あるか伺う。また、対応状況についても併せて伺う。

**答** 管理不全空き家2軒、特定空き家0軒で、所有者などへの働きかけにより、適正な管理や解体に至ったケースもあるが、再三の依頼にも応じないケース、相続放棄のケース、所有者不明のケースなどがあり管理不全空き家は増加傾向にある。今後は、効果的な行政と地域の連携方策の検討

空き家対策計画に則った執行を!



つぶやき…

**ホームページのリニューアルの進捗状況**

**問** リニューアルに向けた今後のスケジュールについて伺う。

**答** 新年度の早い時期に新しいCMS(コンテンツ・マネジメント・システム)の選定を行い、その後、新しいシステムへの移行作業や階層区分の構築などを随時進め、令和4年度中にリニューアルを完了したいと考えている。

# ごみゼロへ自治体版ピリカの導入を

## 市長…環境美化活動への動機付けも考えられる



こせき えいこ 議員

**問** 「ごみ拾いSNS」ピリカを多くの自治体で採用し、地域に特化した清掃活動を見える化、清掃美化活動の参加者数増加や、地域コミュニティの活性化に貢献している。導入の考えはあるか。

**答** 本市では、春と秋に市民一斉クリーン作戦などを行っている。市民の意識が大切と考える。ピリカ活用は、さらなる環境美化活動への動機付けとなることも考えられるため、総合的に検討していく。

**問** 生ごみの水切りの周知はどう行っているか。

**答** 毎年7月1日のお知らせ版に生ごみの水切り方法を掲載している。

県のごみ質分析結果は当環境衛生センターの生ごみの含水量は56・6%と、県内平均49・2%を上回っている。生ごみの水切りの徹底を衛生組合連合会や環境衛生事業組合と協議したい。

**問** 生ごみを肥料にして使用できる段ボールコンポスト推進の考えはあるか。

**答** 小型コンポストへのニーズがあれば、生ごみの削減にも有効な手段であり、衛生組合連合会へ検討を働きかけていく。

**防災対策の拡充**

**問** コロナ禍で2年続けて図上訓練が行われたが、今後の防災訓練はどう行うか。

**答** 防災訓練には実技訓練と図上訓練があり、今年度からは隔年で実施していく。自主防災会などと連携を図り、地域での避難訓練や避難所設置訓練など実施していく。

**問** 小・中学校の防災訓練はどう行われているか。

**答** 各学校で「危機管理に関するマニキュアル」を作成し、火災や地震の際の避難訓練や不審者対応訓練、さらに、より実践的な保護者への引き渡し訓練などを実施している。

**認知症対策の拡充**

**問** 認知症の早期発見・早期受診・早期治療をどう行うか。

**答** 認知症の早期発見・早期対応のために、認知症初期集中支援チームを地域包括支援センターに設置し、複数の専門職が、家族支援など包括的、集中的に行っている。専門医療機関と連携し、早期治療につながる体制を整えている。

**問** 見守りシールの導入の考えはあるか。

**答** 徘徊高齢者等支援事業を行い、早期発見・保護の体制を整備している。見守りシール事業は、必要に応じ検討する。

※「ピリカ」は、ごみ収集量の把握や、参加者間の交流ができる無料のSNSアプリです。

「お互い様」共に支えあうおばなざわ



つぶやき…



# コロナ禍こそ選挙権を持たない子どもたちの声を！

## 市長…教育委員会と連携し支えていきたい



和田 哲 議員

**イベントの基準と判断**

**問** コロナ感染から市民を守るために、市内で行われる一大イベントについては慎重な判断が必要だと思われるが、市長の考えを伺いたい。

**答** 「市民の安全を守りながら開催するためにはどうすればいいか」の視点を持ちながら、総合的に判断していく考えだ。

**問** 感染対策と判断基準についてはどうか。

**答** 感染対策は、県が定めた「イベント等の開催に関する基本方針」に基づき実施する。判断基準については、県内の感染状況を踏まえ判断するが、開催時の状況を見通すのは難



**問** 予定されている徳良湖築堤100周年記念事業費は1千300万円以上だ。これは花笠パレードより高額な予算となっており、特に慎重な判断と検討が必要ではないか。

**答** 一人でも多くの市民が参加して祝福できるように、検討を重ねていきたい。

**コロナ禍の子どもたちへ**

**問** コロナ禍を生きる世代だからこそ、さまざまな体験が共有財産となり生きる強みになって欲しいと考える。今後の、市内の小中学校行事の見直しはどうか。

**答** 運動会や文化祭などの学校行事は、内容に配慮しながら実施していく方向で考えている。

**問** 遠足や修学旅行の現状と今後についても伺いたい。

**答** 小中学校ともに実施に向けて工夫していただいており、各学校と連絡をとりながら、総合的に判断していきたい。

**問** 高校受験を迎える子どもたちへの寄り添い方など、進路希望の実現に向けた教育指導はどのようか。

**答** 将来の自分について考え、進路選択をすることは大変重要なことである。一人ひとりの考えや希望に沿って、ともに考えていく指導を大切にしていきたい。また、学習時間の保障について工夫や配慮することで、子どもたちの学びの保障に向けて取り組んでいる。

段階的でいいし、少しの実感でいい。一步步、本来の生活を取り戻すぞ！



つぶやき…

# コロナ禍における商工業者への対策は

## 市長…市内業者の声を聴き、更なる追加支援を検討する



大類 好彦 議員

**学園構想**

**問** 改めて、いつ、どこに、何を、どのように建てるか伺う。

**答** 新型コロナウイルス感染症の状況を見ると、影響はさらに長引くことも予想されます。市民や市内事業者の声をしっかりと聴き、真に支援が必要の方々へ行き渡るよう、更なる追加支援を検討していく。



**問** コロナ禍における商店街(商工業者)の活性化対策について、今後の対策はどのように考えているか。事業持続化応援資金10万円、おうちでお店でご飯事業200円券5枚などの再支援をしてはどうか。

**答** 令和9年度の開校に間に合うように小学校を建設したい。建設場所は5つの候補地を抽出した。各地区で開催している検討委員会の結果を踏まえ選定していく。保育園、小学校を一体的に整備することで、グラウンドや駐車場を共有できるなど効率的な整備を考えている。

**提言** 今後、保育園、小学校、中学校の他、診療所、ゴミ焼却所の建て替えも考えると、10億円前後の経費が見込まれる。補助

**問** 中学校は、将来的に小学校に隣接した形で整備したい。

**答** 伝承活動や公開演奏会の開催など支援していきたい。日本遺産の認定を受けた文化財であることを市民に周知啓発を図るとともに、担い手の確保など後継者育成につなげていく。



**無形文化財の継承**

**問** 尾花沢市無形文化財の継承について、第7次尾花沢市総合振興計画で力を入れていくとあるが、どのようにしていくのか伺う。

**答** 金などを活用し無理のない支出を求め、小学校の建設場所は、現在と同じ場所も含め検討するよう提言する。

小学校建設は現在の場所も含め検討を提言する



つぶやき…



# 流雪溝のさらなる活用

## 市長…これまで同様ルールを遵守して使用



やすい かずよし 議員

**問** 「おばね特産戦隊ごっこつお3」をアフターコロナ対策に活用してはどうか。現在のすいかレッド、ペそらイエロー、ベゴブラックに加え、アスパラグリーン、だいこんホワイトなど戦士を追加し、賑やかにしてはどうか。5人が定員と考えるが。

**答** キャラクターを知ってもらおうことで、他市町村との差別化と知名度を上げる効果がある。年齢を問わず親しみやすいキャラクター性を活かした情報伝達ツールとして有効だと考える。公式キャラクター「雪ころこ」ともひろく

**問** 活躍させていく。新キャラクタ加入については効果を検証する。「ごっこつお3」の3にこだわって3人となっているようだ。

**答** 雪押場の管理状況および日常対策について、昨年と同等の雪押場確保が来ているのか。

**答** 雪押場については市内全域で千400ヶ所で昨年同様に確保予定。市道の雪置き場となっている個人利用は遠慮いただいているが、豪雪時などは状況に合わせて対応している事例もある。

### 雪押場の確保と流雪溝のさらなる活用

**問** 流雪溝への投入方法について雪を飛ばすタイプは、小型で住人の高齢化もあり各家庭に普及が進んでいる。流雪溝の規模や水量が同じでないで流末での閉塞水上がりの可能性もあり、難しいところはあるが、直接投入できるような仕組みをしてはどうか。

**答** 流雪溝へ重機での直接投雪は水上がりの原因となり中網を開けての作業となる場合もあり誤って落ちる危険性がある。流雪溝管理委員会が流雪溝の使用ルールを毎年度協議しお知らせしている。

**問** 市道以外であっても雪の処理は必要になる。排雪作業や、屋根融雪についても継続した支援が

**答** 個人の敷地内の雪に必要で、商店街での雪対策や屋根融雪についてもさらなる支援を検討してはどうか。

**答** 企業敷地内の雪対策として豪雪対策本部が設置された場合、従業員3名以上の中小企業者に対して除雪経費を助成する制度がある。「居住空間の無雪化で快適な雪国暮らし」を目指しプロジェクトの取り組みを推進しているが、屋根と敷地内の雪処理の方法についてはそれぞれの家で異なるため相談に応じている。

安全・安心に向けた防犯カメラやドローン活用



つぶやき…

# 中止が相次ぐコロナ禍の文化活動支援は

## 市長…観る側にも最善な方法を考え支援していく



しおばら みちこ 議員

**問** コロナ禍でも、開催中止や延期などの影響を受けない活動支援が必要。庁舎内に市民ギャラリー再開すべき。

**答** 市民文化祭は継続していく。文化芸術活動を継承していくための発表の場とネットを活用した動画のライブ配信への支援を検討していく。当日の配信だけでなく、活動風景や作品制作過程の様子なども記録し、各団体の意向を聞きながら支援していく。



**問** コロナ禍で中止が相次いでいる。まんねり化を打破し、企画から抜本的な改革が必要ではないか。

**答** 各まつり部会の判断で延期や中止になったが、実行委員会は各部会（徳良湖まつり・おばねざわ花笠まつり・まるだし尾花沢ふれあいまつり・雪まつり）の計画と実績、予算と決算の取りまとめや企画運営、会計などに助言をする機関。アフターコロナに向け新たな体制、組織づくりから、これまでに無い新しい運営方法を検討する。

### 4大まつり実行委員会

**問** コロナ禍で徳良湖周辺や花笠高原の公共施設に急ぎ整備すべきでは。

**答** 指定避難所中心にWi-Fiを18ヶ所、また、徳良湖オートキャンプ場にはポケットWi-Fiも整備している。今後は、花笠高原など5Gエリア拡大を多方面に働きかけていく。

**問** 市内の林業振興「ウッドショック」

**答** 国産木材急騰の今、林業の世代交代まったなし。担い手がいなければ山はますます荒れる。対策はいかに木材は昨年より2倍となった時期があった。「採算のとれる経済循環

### Wi-Fi・5G対応

### 市内の林業振興

**問** 5月6日に発表された「ゼロカーボン宣言」との関係がイメージできない。また、定住促進目標値100件、具体的にどう進めていくのか。

**答** 今後環境基本計画で示される事業を計画に追加掲載し、ゼロカーボンシティを目指す。また、首都圏から地方への移住が加速する好機ととらえ、ふるさと納税やオンラインツアー、SNSで「尾花沢ファンの拡大」を図り移住世帯へ支援体制を整えていく。

### 過疎地域持続的発展計画

ふるさとに帰りたい帰って来てほしい思いを今こそまちづくりに



つぶやき…



# 公約の「学園都市構想」とは

## 市長…保育所と小学校を一体的に整備し、中学校を隣接建設



すがの よしあき 菅野 喜昭 議員

**問** 市長就任時、公約のひとつに「尾花沢小学校や保育園の一体的な『学園都市構想』とあった。具体的にどのようなものだったのか。

**答** 学園構想は、少子化が進行中においても最適な教育環境を整備したいとの思いからのものである。具体的には、おもだか保育園と尾花沢小学校の老朽化を考慮し、保育所と小学校を一体的に整備できれば、保育と教育の連携を図りながら、グラウンドや駐車場なども共有でき効率化が図れる。これが学園構想である。

**問** 市長就任以来約3年が経過した今、その『学園構想』に変化はあるのか。

**答** 就任後に学校教育検討委員会より出された提言書で、「学校の連携や公共施設の有効活用等から、中学校の隣接も効果的と思われる」とし、「小学校の統合状況に合わせ、中学校を小学校に隣接し、可能な年度で建設することが望ましい。」との提言があった。当初は、保育所と小学校の老朽化が発端の構想であったが、中学校連携も視野に入れ、将来的には、統合小学校に隣接した形で中学校を建設し、これも含めた学園構想として整備したいと考えている。

**問** 「市内小学校を1校に統合する」と提言しているが、閉校する福原中、福原小、宮沢小、玉野

小及び常盤小の活用についてどのように考えているのか。

**答** これまで閉校した学校については、様々な形で利活用している。各地域で閉校した学校を地域づくりの拠点として利用する動きが活発化しており、閉校を機に地域力の高まりも見られる。各学校の利活用に関しては、あらためて、地区の方々とも話し合いの場を持ち、ご意見をお聞きし検討していく。

**問** 令和3年度は、「家庭用除雪機械」の購入補助率が「購入価格の10%以内(10万円限度)」に増額した。しかしながら、日本三雪

### 尾花沢市住宅関連補助事業

**問** 令和3年度は、「家庭用除雪機械」の購入補助率が「購入価格の10%以内(10万円限度)」に増額した。しかしながら、日本三雪

**答** 家庭用除雪機購入費の助成は、平成23年度から購入費の10%、上限5万円の助成を開始した。また今年度より、購入費の10%上限10万円と拡充を図った。上限10万円にした理由は、令和元年度除雪機購入した方の平均価格が約17万円となっていることを受け、概ねその10%として10万円の助成を受けられるよう上限を見直したものである。今後も限られた財源の中で効果的な雪対策が進められるよう十分配慮していく。

なぜ除雪機械の購入補助だけ10%なのかな?



つぶやき…

# 園の送迎バスに運行経費助成を

## 市長…法人運営の園の助成は考えていない



すずき きよし 鈴木 清 議員

**問** 7月に福岡県中間市の認可保育園で、5才児が送迎バスに取り残され、熱中症で死亡した事故があった。国による運行規則の定めはあるか、または市は送迎バスの安全をチェックしているか。

**答** 保育所は保護者送迎が基本のため、国の運行規則はない。本市の保育所・認定こども園は全て添乗員が配置され、連絡のない欠席などもしっかりと確認している。

**問** 市はどのように送迎バスの財政支援をしているか。幼稚園・認定こども園は1号認定児のみ「通園送迎加算」が創設されたが、不十分な額のため、維持費の8割程度が、園の持ちだしになり、「通園バ

ス代」として実費・上乘せ徴収をせざるを得ない実態がある。どの子もかけがえない園児の命を守る安全な送迎バスの運行のため、園の区別なく、市の助成が必要と考えるがどうか。

**答** 福原地区4園統合に伴う特殊事情として、よつば保育園に助成している。法人運営の認定こども園は他園と差別化し、特色あるサービス提供に取り組みられているため助成を行う考えはない。

**問** 6月に5地区の説明会が開かれた。貴重な意見や不安・疑問が出され、その後教育委員会のQ&Aの資料を提出していた

### 説明会後の「小・中学校統廃合」の課題

だいた。小中一貫校が始まって20年が過ぎたが、現時点でどう評価しているか。

**答** 小中9年間を一貫した教育目標の下、系統的で継続的な教育が実施できる。一方、小中のメリハリがなくなることで、小学生高学年のリーダーシップを育てる機会が少なくなる課題もある。

**問** 中学校併設時の学校形態の再検討前に、市民や教職員に違いを知らせる学習会が必要と考えるがどうか。また学校形態はどのように決定していくか。

**答** 最上地域の義務教育学校を調査研究しながら、子ども達の教育環境を第一に考え、教職員や保護者などの意見も聞きながら、

送迎バスにスクールバスと同じ運行助成を!



つぶやき…

ら最終的な方針を決定していきたい。

**問** 本市の高齢者の難聴の実態をどう把握しているか。

**答** 要介護認定時の調査で聴力の項目があるが、程度・人数まで把握していない。

**問** 元気でいきいきと暮らし、認知症対策のためにも、聴力機能の低下がある中・軽度の高齢者に補聴器の購入費の一部助成をしてはどうか。

**答** 助成を実施している自治体はほとんどないため、聴力低下に対する知識・対処方法の周知に努めたい。

**問** 高齢期の聞こえの支援(補聴器助成)



# 「尾花沢伝統の匠」認定制度の制定を

## 市長…他市町村の取り組みを参考に制度や支援内容を研究

### 次世代へ継ぐ 水田農業基盤整備

**問** 現在、鶴子六沢地区の県営「水田農業低コスト・高付加価値化基盤整備事業」は、水田1枚を1ha以上の大区画とし、担い手に80%以上の集積と集約を目標に取り組みされている。地下灌漑設備を施工し、水田の本格畑作化への転換で高収益作物への転作を容易とし、その上ドローンやロボット機械を駆使したスマート農業が展開でき、大幅なコスト軽減を目指している。この地域を水田農業のモデル地区とし、次に続く基盤整備地区の後押しをする考えはないか。

**答** 本県営事業は、市内で初めて取り組んだ



すがの しゅういち 議員  
菅野 修一

事例であり、市内各地への波及効果を期待している。地元関係者間で事業内容を煮詰め、地域の合意形成を図るのが先決であり、事業に取り組み際は、前回同様にしつかり支援していきたい。

### 「伝統の匠」認定制度

**問** 本市には、巧みな手技が編み出した素晴らしい伝統の民具工芸品がある。身近には、約150年の眠りより伊藤瓢堂氏が蘇らせた上の畑焼きや、故香谷旭氏が興こされた徳良湖ガラス工房、おしんこけしで名をさせた銀山伊豆こけし工房、尾花沢祭りばやし屋台を制作された市野々の宮大工棟梁山口氏など他にも

多くの人物団体がおり、本市の名声を高めている。これらの作品は、私達の心を和ませ豊かに満たさせる。この伝統工芸家の方々に「尾花沢伝統の匠」として認定する制度を制定してはどうか。

**答** この度、伊藤瓢堂氏は県の芸術文化分野の最高賞「齋藤茂吉文化賞」を受賞された。これは伊藤氏のこれまでの尽力と実績の賜物であり、本市にとっても、大変な喜びとともに誇りでもある。そして地域の豊かさを象徴するものとして大切に継承していく環境を創っていくことが重要だと考え、今後、後継者の育成や産業の振興、代表作品の保護などに努めたい。他市町村の取り組みを参考

### 御所の水ハス公園の保全

**問** 御所の水ハス公園は近年猪によるハス田畦畔の破壊とハスの根茎の食害が甚だしく、鶴子地区環境整備振興会だけでは守り切れない状況である。市の支援の手立てがあるのでないか。

**答** 地域活性化交付金による支援など地域の方々が立ち上がり、活動していく際には是非協力していきたい。

伝統工芸に勤しむ方々を認定し、発信できることは、市の誇りでもあり、豊かさだね。



つぶやき…

トピックス

## 芭蕉、清風歴史資料館へ行こう！



歴史を学び、大切に子孫に伝えることを目的にして開館

### 歴史資料館のあゆみ

- ① 1983年(昭和58年)7月「芭蕉、清風歴史資料館」が開館。開館に合わせガイドブック「芭蕉と清風 おくのほそ道・尾花沢」が発刊される。
- ② 1989年(平成元年)4月おくのほそ道紀行三百年記念で芭蕉の銅像が旧宮沢村岩谷沢の門脇啓・シユウさんより寄贈される。
- ③ 2019年(平成30年)資料館が関係する「山寺が支えた紅花文化」が日本遺産に認定され、現在江戸時代の町家の姿を伝える貴重な文化遺構になっている。

第7次尾花沢市総合振興計画 令和3年(2021)→令和12年(2030)年度  
分野6の3 文化財  
芭蕉、清風歴史資料館の充実  
鈴木清風と「芭蕉十泊のまち」を活かした展示資料の充実を図るとともに、特別展示事業などを展開しながら、国内外への情報発信を強化する。

## 「徳良湖100年おめでとう！ そしてありがとう！」

## 大好き尾花沢 Vol.2

徳良湖は、人の流れが増えてきた。みんなが口にする「いいごだ。ここは。」小高い丘があり、湖があり、森があり、花があり、1周できる遊歩道があり、子供連れの遊び場が増えてきて、とてもいい場所になってきた。(東洋のフィンランドと言われるようになってきた)

何よりも、朝日を浴びた徳良湖の湯気立つ姿は何とも言えない風景である。午後からは風が吹きヨットが走る。夕方になると夕日が湖面をオレンジに彩る。夜はイルミネーションで迎えてくれる。やっぱりここはいいごだあ。

ぜひ、市民の人なら1日ゆっくり徳良湖で満喫してみてください。

9年前、徳良湖ヨット倶楽部ができた。楽しみのヨットから、週末山大医学部のヨット部も練習にやってくる。これもメンバーの指導で今年国体選手が誕生！ヨット部初めての事だそう。

そんな中で、北村山高校にヨット部を立ち上げようというプロジェクトチームができ上がった。徳良湖ヨット倶楽部はもとより、市、企業が一体となって応援したいものだ。海のない小さな池から世界の大海原へ飛び立って欲しい。ぜひ小中高生にヨット教室(水辺のリクレーション)指導できる協力隊が来てくれるといいな。

今、徳良湖が全国から注目されている。ヨットの種類と数、そして障害者用のヨットがある。ぼくはこれにはまっている。風を知る。風をつかむ、そして風が見える。

ステータスの高かったヨットが、誰でも体験できる身近なものになった。僕がのっているヨットは、毎年オーストラリアで世界選手権に出ている。

徳良湖100年、次の100年に向けて動きだした。

東洋のフィンランド 三浦あす